

## 検査前の注意点

以下の項目に該当する方は検査を受けられない場合がありますので事前に主治医にご相談ください

- ペースメーカー、植え込み型除細動器(ICD)を装着されている方
- 妊娠されている方(可能性のある方)
- 人工透析中の方
- 医師の指示で水分制限がある方
- 排便・直腸障害がある方
- 1年以内に開腹手術を受けた方
- 1週間以内にポリープ切除術を受けた方
- 痔手術を半年以内に受けた方
- 潰瘍性大腸炎で治療中の方
- 硫酸バリウムにアレルギーがある方

## 食事制限について

食事は前日の**21時まで**に消化の良い食事を取り、それ以降はお控え下さい。水やお茶(ジュースや牛乳は不可)などの**水分摂取は可能**です。

## 服装について

検査着に着替えて頂きます。なるべく**着替えやすい服装**でお越しください。

## 副作用について

発泡剤を服用すると急激に胃が膨らむ為一時的に気分不快などの症状が出現することがあります。  
バリウムが腸管に長時間停滞すると水分を吸収して硬くなり自然排出が難しくなります。  
検査翌日の昼を過ぎても便が出ない、強い腹痛や膨満感、下血などの症状が現れた場合は当院もしくは、最寄りの医療機関へ受診するか当院までご連絡下さい。

## 検査終了後

バリウムは便とともに排泄されますので、検査後は**水分を多め**にとりください。

お問い合わせはこちらまでお願いいたします。

成田記念病院 放射線部

☎0532-31-2167(代表)

# バリウム検査

不安や分からないことなどがありましたらお気軽に担当スタッフにお声がけください。



成田記念病院  
放射線部



## バリウム検査とは



バリウム検査の正式名称は

【上部消化管造影】といいます。

胃を膨らませる発泡剤という薬とバリウムという造影剤をお飲みいただき、様々な角度から観察することで、食道～胃～十二指腸の形態や粘膜の異常の有無を確認する検査です。

胃がん、胃潰瘍、胃ポリープ、慢性胃炎などの病気を発見することができます。



## 胃がんとは

胃がんは胃壁の内側にある粘膜細胞が、何らかの刺激によってがん細胞となることで発生します。進行すると胃壁の外側に向かって広がっていきます。

## 胃がんの罹患率

胃がんの罹患率は男性では第2位、女性では第5位となっています。男性のおよそ10人に1人、女性ではおよそ21人に1人が、一生のうちに胃がんと診断されています。

出典:がん情報サービス「最新がん統計(2018)」

## 胃がんの発生とリスク要因

胃がんのリスク要因はピロリ菌感染による胃粘膜の慢性的な炎症や、塩分の多い食事、野菜・果物不足、過度な飲酒習慣、喫煙、ストレス・疲労が挙げられます。



## 検査手順

1

ご本人確認のため、お名前と生年月日を伺います。マスクは外していただきます。



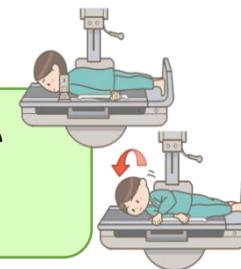
2

少量のバリウムで発泡剤を服用します。検査終了までゲップを我慢していただきます。



3

担当スタッフの指示に従い体の向きを変えながら検査を行います。



4

検査終了後水分を多めにってください。

